

係活動の手引き(番外編)

その9 委員会活動への取組

係活動とは、学級活動の一分野です。また、委員会活動とは、児童会活動の一分野です。このように領域が違うものをなぜ一緒にまとめようとしたかという点、第4学年までの係活動の充実が、高学年においての委員会活動に生かされると考えるからです。

委員会活動は、5年生から始まります。4年生までに、係活動が充実していたかどうかによって、かなりの差が出てくるようです。

委員会活動のねらいは何か？

学校生活をよりよくするための自分の役割を自覚し、積極的にその活動に取り組めるようにする。

◇究極の委員会活動

先に述べた委員会活動のねらい達成のためには、まず委員会活動そのものが、子どもにとって魅力あるものである必要があります。そのことを考えた究極の委員会活動が存在します。それは、筑波大学附属小学校の委員会活動です。

筑波大学附属小学校では、委員会活動が毎年更新されます。つまり、今までやっていた活動は3月で終了し、4月から新たに活動が始まるのです。そのために、委員会を担当する5・6年生は、自分たちで相談し合って「どういう委員会があれば、自分たちの学校をより豊かに出来るか」という視点から委員会を組織します。そこで、委員会が出来ると、子どもたちは先生方に顧問をお願いに行きます。そして、1年間、自分たちの思いで委員会活動を運営していくのです。筑波大附属小の子どもたちがどういう委員会をつくったか、いくつか紹介します。

◇通用門展示委員会	◇ユニセフ委員会	◇放送委員会
◇ジャンボフレンド委員会	◇1年生お世話委員会	◇図書委員会
◇保健委員会	◇飼育委員会	◇栽培委員会
◇学校園委員会	◇校内パトロール委員会	◇学校をきれいにしよう会
◇修理委員会	◇落とし物委員会	◇運動用具委員会
◇掃除用具宅急便	◇理科室実験器具委員会	◇図工室委員会
◇何でも相談委員会	◇学校地図作成委員会	◇インターナショナル委員会
◇アンケート委員会	◇写真委員会	◇アニメ新聞委員会
◇スポーツ新聞委員会	◇校内ニュース委員会	

実にユニークな委員会ばかりです。活動内容が分かりにくいものもありますが、子どもたちの発想の中から生まれてきたものです。すべてを真似することはできませんが、参考にしていきたいものです。

◇委員会活動を活性化させる

さて、委員会が決まったら、いよいよ活動を開始するわけですが、せっかくの委員会活動です。前述したねらい達成のために、次の3つの取組をされることをお勧めします。

広報活動の充実・イベント活動への取り組み・委員長会の設置

(1) 広報活動の充実

まず、学校に委員会活動というものがあることを、1年生をはじめとする全校児童に知ってもらうことが必要です（知らなければ、協力なんてできませんよね）。さらに、委員会の種類や活動内容もそうです。そのために、次のようなことをしたらいいと思います。

① 委員会活動コーナーの設置

校内に1ヵ所、各委員会の活動内容や計画などが分かるものを掲示できる場所を設置します。そこには、委員会の年間計画と毎月の活動予定などを貼らせませす。

それと、学級に1ヵ所、あとで述べる委員会新聞を掲示する場所を確保していただきたいと思います。

② 委員会新聞の発行

各委員会は、少なくとも月に1回は、自分たちの広報紙を発行すべきです。広報紙の大きさはB4サイズが見やすさからいってよいと思います。今、どんな活動をしているか。皆さんにお知らせしたいことは何か。また、お願いしたいことは何か等を用紙にまとめて学級数だけ印刷し、配布するのです。4年生以下の委員会活動への関心がしっかり変わってきます。

この新聞発行には、もうひとつの意味があります。それは活動意欲を持続させることです。新聞を書くためには何かをやらなければ書けませんから…ね。

(2) イベント活動への取り組み

委員会は、学校生活をよりよくするために行われます。ここでいう「よりよく」というのを、私は「より楽しく、より豊かに」という意味でとらえています。そのために何をしたらいいでしょう。私はイベント活動を仕組むことだと考えます。このことは、同時に企画力を鍛えることにもなります。

① 日常的イベントの企画

イベントといえは〇〇集会というものが真っ先に頭に浮かびます。しかし〇〇集会だけがイベントではありません。もっと日常的な活動を行わせるべきだと思います。

おもしろくて、しかも、みんなの役に立つものを

まさに、係活動と同じ発想なのです。この発想で、いろんなイベントを考えさせてみましょう。子どもたちは、自由な発想が認められていると分かれば結構面白い活動を考えるものです。私がこれまでに関わった委員会の例を挙げておきますので、参考にしてください。

[保健委員会] 外で遊ぼう週間、風邪をぶっとばそう月間

[飼育委員会] 飼育小屋や動物たちの名前募集、スケッチ大会

[美化委員会] ゴミひろい週間、校内の飾りコンテスト

[運動委員会] 遊び週間、スポーツコンテスト

[放送委員会] 学級ビデオ紹介、有名人発見

[広報委員会] 学級新聞コンテスト、原稿募集、インタビュー祭り

[図書委員会] 新刊案内コーナーづくり、読み聞かせ（紙芝居）の会

[音楽委員会] 今月の歌紹介、歌のクイズ大会、全校のど自慢大会

*いろいろな企画にやわらかい頭でチャレンジさせてみてください。

② 教師の支えを

いろいろな新しい企画をするには、どうしても教師の手を必要とします。子どもたちの発想を大切にしながら、一緒に楽しいイベントを作り上げてほしいと思います。

(3) 委員長会の設置

委員会同士の横のつながりを持たせるために、委員長会を設置します。定例会と臨時会を行うようにしておきます。

① 定例会

毎月の委員会活動のあとに行います。それぞれの委員会からの反省とその月の予定を報告し合います。その際、イベントを企画した委員会があれば、他の委員会に協力を要請します。

② 臨時会

イベントを実施する際に、その準備等で他の委員会の協力が必要な場合に行います。私の場合、計画委員会主催のチャレンジランキング大会の前に行っていました。

おわりに

係と委員会活動を活性化させるには、目標の明確化、自発性・自主性の喚起、創意工夫の喜び、役割活動への配慮、そして楽しさの追求ということを視点にして手だてを講じていく必要があるようです。特に楽しさの追求は、子どもの意欲と直結するものがあるように思います。安易な楽しさでなく、充実した楽しさを身近な実践の中で積み上げさせていってください。

子ども一人ひとりが、係・委員会という小集団による自主的な役割活動を通して、学級や学校の向上発展に貢献していくわけです。その中で得るものには、いろいろなものが考えられます。自己の持ち味を生かして役立った喜びとしての有用感、責任もって役割を果たした満足感、厳しい壁を乗り越えた充実感、仲間との協力からくる連帯感と達成感などがそうです。これらの積み上げが、子どもたちの自己実現へつながっていくことは間違いないと思います。教師は、その援助を適切に行うために、失敗を恐れずに「豊かな学級・学校生活の実現」を目標に努力すべきだと思います。

